

令和6年度 専攻科第2学年 シラバス



日本歯科大学東京短期大学 専攻科
歯科技工学専攻

The Nippon Dental University College at Tokyo,
Graduate Programs,
The Major of Dental Technology

建 学 の 精 神

学校法人日本歯科大学建学の精神は「自主独立」であり、本学建学の目的を「心・技・体が調和した人間性豊かな歯科医療スペシャリストの育成」とする。

教 育 の 理 念

本学学則には、その目的を「本学は、教育基本法および学校教育法の精神に基づき、歯科技工および歯科衛生に関する専門の知識と技術を教授研究し、豊かな教養と人格を備えた、高度な医療技術者を育成し、もって国民の保健医療の向上に寄与する。」と規定している。この目的を体として、医学の一領域・人体の健康を担当する医療人として、知識、技術および倫理観など、学・術・道を兼ね備えた歯科技工士と歯科衛生士を養成する。

教 育 の 目 的

専攻科歯科技工学専攻・専攻科総合技工学専攻・専攻科歯科衛生学専攻・専攻科口腔リハビリテーション学専攻では歯科技工学科・歯科衛生学科で学んだ基礎的知識の上に、更に専門的知識と高度な技術を修得して、应用能力を備えた指導者となり得る歯科技工士・歯科衛生士を育成することを目的とする。

教 育 の 目 標

1. 幅広い教養と倫理観を持った歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
2. 人間性豊かで人の痛みが判る優しい歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
3. コミュニケーション能力が優れた歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
4. 歯科医学の最新の知識と技術を生涯学び続ける意欲と能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
5. 将来の良質な歯科医療の確立を目指し、応用的研究能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
6. 社会の要求とEBM（Evidence Based Medicine）を重んじた歯科医療に貢献する歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
7. 問題を見出し解決する能力を持つ歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
8. 地域医療に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
9. 健康増進に貢献できる歯科技工士・歯科衛生士を育成する。
10. グローバルに活躍する歯科技工士・歯科衛生士を育成する。

アドミッションポリシー

本学の建学の精神である「自主独立」の精神を理解し、基本理念と教育目標を達成するために、十分な学力と高い目的意識を持ち、相手の気持ちを理解できる人間性豊かな人を求めています。

カリキュラムポリシー

専攻科歯科技工学専攻

1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進捗とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成している。
2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目である。
3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を習得できる授業科目である。
4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を習得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目である。
5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図る。

ディプロマポリシー

専攻科歯科技工学専攻

本学では、以下のような高度な能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証書が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

專攻科齒科技工学專攻課程

項目 授業科目		カリキュラムポリシー				ディプロマポリシー		
		習得も基礎できる分野に重点を置く。大学に段階別基礎を身につけるための、専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。	備えられた基礎知識を応用できる。幅広い専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。	専門的知識を応用できる。幅広い専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。	専門的知識を応用できる。幅広い専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。	専門的知識を応用できる。幅広い専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。	専門的知識を応用できる。幅広い専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。専門的知識の習得を促す。	
基礎分野	経営学	○	○					○
	色彩学	○	○			○		○
	造形美術	○	○					○
	介護福祉概論	○	○			○		○
	統計学	○	○					○
	イングリッシュコミュニケーション	○	○					○
	生物学	○	○			○		○
専門基礎分野	研究方法論	○		○			○	○
	歯科医学総論			○		○	○	○
	歯学特論	○		○			○	○
	系統構造学	○		○			○	○
	保健統計学	○		○			○	○
	口腔健康管理学	○		○			○	○
	口腔保健技工学概論	○			○		○	○
専門分野	顎顔面補綴技工学	○			○		○	○
	臨床歯冠修復技工学	○			○	○	○	○
	臨床有床義歯技工学	○			○		○	○
	小児矯正技工学	○			○		○	○
	CAD／CAM技工学				○	○	○	○
	臨床咬合学	○			○	○	○	○
	保存歯科学	○			○	○	○	○
	審美造形歯科論	○			○		○	○
	先進歯科医療論	○			○	○	○	○
	専攻科特別研究基礎	○			○		○	○
	専攻科特別研究応用	○			○		○	○
	インプラント学	○			○	○	○	○
	歯科理工学				○		○	○
	歯科材料学	○			○		○	○
	歯の解剖学	○			○		○	○
	口腔保健技工基礎実習	○			○		○	○
	歯科技工臨床実習	○			○	○	○	○
歯科技工応用実習	○			○	○	○	○	
計	32	7	6	19	12	25	32	

総目次

本書の使い方.....	1
令和6年度教務予定表.....	2
前学期授業科目.....	5
後学期授業科目.....	17

本書の使い方

本書は、日本歯科大学東京短期大学専攻科歯科技工学専攻の学生のみなさんが、履修すべき授業や実習の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に参加する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成しました。

各授業と実習を系統的に理解できるように下記にまとめてありますので、有効に活用して下さい。

記

- 1)受講に先だって、事前に該当授業と実習内容に目を通しておくこと
- 2)受講の際は、本書を必ず持参して、必要に応じてチェックすること
- 3)やむを得ず欠席した場合には、該当科目のページを確認しておくこと
- 4)休講などの場合には、該当科目の変更などを確認しておくこと
- 5)予習と復習の指針とすること
- 6)試験に際しては、試験範囲などの系統的な自学自習の指針とすること

令和6年度 教務予定表

月	日(曜)	事 項
4	3(水)	入学式
	4(木)	技工学科第1学年・衛生学科第1学年 前学期オリエンテーション [5日(金)まで] 技工学科第2学年 前学期 オリエンテーション, 衛生学科第2学年 前学期 オリエンテーション・前学期授業開始 衛生学科第3学年 前学期 オリエンテーション・臨床・臨地実習再開 [7月26日(金)まで] 専攻科歯科技工学専攻 第1学年 前学期オリエンテーション 専攻科歯科衛生学専攻 前学期オリエンテーション [5日(金)まで]
	5(金)	専攻科歯科技工学専攻 第1学年 前学期授業開始 専攻科歯科技工学専攻第2学年 前学期オリエンテーション・前学期授業開始
	6(土)	生命歯学部・東京短大合同新入生歓迎会(予定)
	8(月)	技工学科第1学年・衛生学科第1学年 前学期授業開始 専攻科歯科衛生学専攻 前学期授業開始 衛生学科第3学年 前学期授業開始 [7月12日(金)まで]
	下旬	技工学科第2学年 登院式
	27(土)	合同合宿・クラブ活動週間 [29日(月)まで]
	30(火)	休講[5月2日(火)まで]
5	24(金)	学生健康診断(専攻科を除き休講)
6	1(土)	日本歯科大学創立記念日
	上旬	衛生学科第2学年 全国小学生歯みがき大会
	8(土)	衛生学科第2学年 歯と口の健康週間事業
	7(金)	技工学科第1学年 前学期試験 [6月11日(火)・9月12日(木)]
	13(木)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 前学期試験 [6月18日(火)・20日(木)・25日(火)]
	20(木)	技工学科第1学年 前学期追再試験 [6月27日(木)・9月19日(木)]
	下旬	専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援学位授与機構 特例による学位授与申請(予定)
7	上旬	短期大学交流会
	5(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 前学期追再試験 [7月10日(水)・12日(金)・17日(水)]
	19(金)	技工学科第2学年 就職ガイダンス
	22(月)	技工学科第2学年 進学ガイダンス 衛生学科第1学年 前学期試験 [26日(金)まで] 衛生学科第2学年 前学期試験 [26日(金)まで]
	24(水)	専攻科歯科技工学専攻第2学年 夏期休暇 [8月28日(水)まで]
	26(金)	技工学科第1学年 夏期休暇 [8月30日(金)まで]
	29(月)	技工学科第2学年 夏期休暇 [8月23日(金)まで]
	29(月)	衛生学科第3学年 前学期試験 [31日(水)まで]
	30(火)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 夏期休暇 [8月28日(水)まで]
	下旬	技工学科第2学年 企業見学会
8	5(月)	衛生学科第1学年 前学期追再試験 [9日(金)まで] 衛生学科第2学年 前学期追再試験 [9日(金)まで] 衛生学科第3学年 前学期追再試験 [7日(水)まで]
	8(木)	衛生学科第3学年 夏期休暇 [23日(金)まで]
	13(火)	衛生学科第1学年 夏期休暇 [9月27日(金)まで] 衛生学科第2学年 夏期休暇 [9月18日(水)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 夏期休暇 [30日(金)まで]
	26(月)	技工学科第2学年 授業再開 [9月6日(金)まで] 衛生学科第3学年 臨床臨地実習開始(総合病院)[9月27日(金)まで]
	29(木)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 授業再開 [9月13日(金)まで] 専攻科歯科技工学専攻第2学年 授業再開 [9月20日(金)まで]
9	2(月)	技工学科第1学年 授業再開 [9月27日(金)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 授業再開 [2日(月)まで]
	3(火)	専攻科歯科衛生学専攻 前学期試験 [4日(水)まで]
	9(月)	技工学科第2学年 前学期試験 [10日(火)まで]
	9(月)	専攻科歯科衛生学専攻 前学期追再試験 [10日(火)まで]
	17(火)	技工学科第2学年 前学期追再試験 [18日(水)まで]
	19(木)	衛生学科第2学年 授業再開 [20日(金)まで]
	24(火)	衛生学科第2学年 臨床・臨地実習オリエンテーション [30日(月)まで]
	26(木)	衛生学科第2学年 登院式
	30(月)	衛生学科第1学年 後学期オリエンテーション 衛生学科第3学年 後学期オリエンテーション
	下旬	専攻科歯科技工学専攻第2学年・専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構学習成果の提出締切

月	日(曜)	事 項
10	1(火)	技工学科第1, 2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始, 衛生学科第1学年 後学期授業開始 衛生学科第2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始, 衛生学科第3学年 後学期授業開始 専攻科歯科技工学専攻第1学年 後学期オリエンテーション・授業開始 専攻科歯科技工学専攻第2学年 後学期オリエンテーション・後学期授業開始 専攻科歯科衛生学専攻 後学期オリエンテーション[2日(水)まで]
	2(水)	衛生学科第2学年 臨床・臨地実習開始 [2月21日(金)まで]
	3(木)	専攻科歯科衛生学専攻 後学期授業開始
	26(土)	富士見祭 [27日(日)まで]
	17(木)	技工学科第1学年 後学期試験 [12月2日(月)・12月16日(月)・2月4日(火)・2月5日(水)]
	31(木)	技工学科第1学年 後学期追再試験[12月9日(月)・12月23日(月)・2月12日(水)・2月13日(木)]
	下旬	衛生学科第2学年 上級救命講習
11	未定	専攻科歯科衛生学専攻 目黒区立第十一中学校保健指導
	22(金)	衛生学科第3学年 文京区立茗台中学校集団指導
	29(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 後学期試験 [1月24日(金)]
12	12(木)	技工学科第2学年 後学期試験 [13日(金)まで]
	16(月)	衛生学科第3学年 後学期試験 [17日(火)まで]
	未定	専攻科歯科技工学専攻第2学年・専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施小論文試験
	19(木)	技工学科第2学年 後学期追再試験 [20日(金)まで] 衛生学科第3学年 後学期追再試験 [23日(月)まで]
	20(金)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 後学期追再試験 [1月31日(金)]
	23(月)	技工学科第2学年 冬期休暇 [1月7日(火)まで] 専攻科歯科技工学専攻第1, 2学年 冬期休暇 [1月7日(火)まで]
	24(火)	技工学科第1学年 冬期休暇 [1月7日(火)まで] 衛生学科第1, 3学年 冬期休暇 [1月3日(金)まで]
	26(木)	専攻科歯科衛生学専攻 冬期休暇 [1月3日(金)まで]
	30(月)	衛生学科第2学年 冬期休暇 [1月3日(金)まで]
1	6(月)	衛生学科第1学年 授業再開 [24日(金)まで], 衛生学科第2学年 授業再開 [28日(火)まで] 衛生学科第3学年 授業再開 [3月上旬まで], 専攻科歯科衛生学専攻 授業再開 [2月28日(金)まで]
	8(水)	技工学科第1学年 授業再開 [2月3日(月)まで], 技工学科第2学年 授業再開 [2月中旬まで] 専攻科歯科技工学専攻第1学年 授業再開 [2月19日(水)まで] 専攻科歯科技工学専攻第2学年 授業再開 [2月10日(月)まで] 衛生学科第2学年 臨床・臨地実習再開 [2月21日(金)まで]
	20(月)	技工学科第2学年 第1回統合科目試験
	23(木)	専攻科歯科衛生学専攻 後学期試験 [24日(金)まで]
	下旬	衛生学科第3学年 第1回総論科目試験
	30(木)	衛生学科第1学年 後学期試験 [2月10日(月)まで] 専攻科歯科衛生学専攻 後学期追再試験 [31日(金)まで]
	31(水)	技工学科第2学年 第2回統合科目試験
2	上旬	専攻科歯科衛生学専攻 研究成果発表会
	3(月)	衛生学科第2学年 後学期試験 [5日(水)まで]
	7(金)	衛生学科第2学年 後学期追再試験 [12日(水)まで]
	上旬	技工学科第1学年 上級救命講習
	中旬	技工学科第2学年 歯科技工士国家試験
	中旬	衛生学科第3学年 第2回総論科目試験
	10(月)	専攻科歯科技工学専攻第2学年 特別研究応用 研究成果発表会
	14(金)	技工学科第1学年 春期休暇開始
	17(月)	衛生学科第1学年 後学期追再試験 [26日(水)まで]
	20(木)	専攻科歯科技工学専攻第1学年 春期休暇開始
	24(月)	衛生学科第2学年 春期休暇開始
	27(木)	衛生学科第1学年 春期休暇開始
	下旬	専攻科歯科技工学専攻第2学年・専攻科歯科衛生学専攻 大学改革支援・学位授与機構実施審査結果通知
3	上旬	衛生学科第3学年 歯科衛生士国家試験
	上旬	学位記授与式(卒業式・修了式)
	下旬	技工学科第2学年・衛生学科第3学年 国家試験合格発表

専攻科歯科技工学専攻 第2学年 前学期授業科目

歯科技工応用実習	9
専攻科特別研究応用	15

令和6年度 専攻科歯科技工学専攻 2学年 前学期授業時間表(1)

時 限	1	2	3	4
	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	
火	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
水	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	
木	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
金	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	

- 1) 授業期間: 4月 5日(金)～7月23日(火)
 2) 夏期休暇: 7月24日(水)～8月28日(水)
 3) 4月 5日(金)にオリエンテーションを行う.

令和6年度 専攻科歯科技工学専攻 2学年 前学期授業時間表(2)

時 限	1	2	3	4
	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
火	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
水	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
木	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
金	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	

1) 授業期間: 8月29日(木)～ 9月13日(金)

令和6年度 専攻科歯科技工学専攻 2学年 前学期授業時間表(3)

時 限	1	2	3	4
	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
火	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
水	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
木	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
金	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	

1) 授業期間: 9月17日(火)～9月20日(金)

歯科技工応用実習（セラミックスコース）

月曜日～
金曜日

9:00～14:20

本学期的学習目標（GIO）

臨床実習において咀嚼系の機能回復と審美的変化に対応した陶材焼付け・硬質レジン前装冠やインプラントの工程管理を修得するために、臨床補綴物の製作を実施する。併せて歯科医師とのコミュニケーション能力を身につけるために、チーム医療における歯科技工士の責任を理解する。学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するために、在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を実施し、企業研修会や学術講演会に積極的に参加する。

学習成果

ディプロマポリシーポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- ☐ 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月-金	9:00-14:20	附属病院 2階 専攻科技工室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付プリント		

担当者一覧

佐藤文裕・雲野泰史・竹井利香・茂原宏美・病院技工室担当者

成績評価

臨床ケース数(70%)、見学ケース(見学回数・見学評価:20%)、研修会等への参加レポート(10%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

口腔保健技工基礎実習で学んだ知識、技術を復習し、臨床実習で活用しましょう。

オフィスアワー

日時:実習終了後15分 場所:附属病院2階専攻科技工室・附属病院技工室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 207	4/5 9/13	金 金	佐藤文裕 雲野泰史 竹井利香 茂原宏美 病院技工室 担当者	ユニット1: 歯冠修復物の製作	1) 実習に必要な器材を準備する. 2) 歯型可撤式模型の製作を実施する.
				GIO: 適切な歯冠修復補綴物を製作するために, メタルボンドにおける指示内容を理解し, 製作手順を修得する.	3) 作業模型の咬合器装着を工夫する. 4) マイクロスコープでマージンのトリミングを実施する. 5) ワックスアップを実施する.
				ユニット2: 就業体験	6) フレームのカットバックを工夫する. 7) 適正な埋没を実施する.
				GIO: 病院内での歯科技工士としての態度を身につけるために, 仕事の内容を理解する.	8) 鋳造操作を実施する. 9) 内面の調整を実施する. 10) 築盛面の調整・処理を実施する.
				ユニット3: 企業研修会・学術講演会	11) 陶材の築盛を実施する. 12) 隣接面接触点の調整を実施する.
				GIO: 最新の技術についての知識・技術を修得するために, 研修会や講演会への参加を実施する.	13) 正確な外形の切削を実施する. 14) 表面形状付与を工夫する. 15) 陶材研磨を実施する. 16) メタル研磨を実施する. 17) 病院技工室の組織体系について述べる. 18) 最新の設備の見学を実施する. 19) 企業研修会と学術講演会に参加する. 20) 学内で行われる勉強会やセミナーに参加する.

本学期的学習目標（GIO）

臨床実習において咀嚼系の機能回復と審美的変化に対応した金属床義歯・レジン床義歯の工程管理を修得するために、歯科医師とのコミュニケーション能力を身につけ、チーム医療における歯科技工士の責任を理解する。学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するために、在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うことで、資質を高め、また、企業研修会や学術講演会に積極的に参加する。自らの製作物を見ることによって模型との違いを理解するために、補綴物の装着の見学を実施する。

学習成果

ディプロマポリシーポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- | | |
|---|---|
| ○ | 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| ○ | 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。 |

カリキュラムポリシー

- | | |
|---|---|
| ○ | 1.教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。 |
| | 2.基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。 |
| | 3.専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 4.専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 5.すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。 |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月-金	9:00-14:20	附属病院 2階 専攻科技工室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付プリント		

担当者一覧

小泉順一・富田 淳・宇都宮宏充・病院技工室担当者

成績評価

臨床ケース数(70%)、見学ケース(見学回数・見学評価:20%)、研修会等への参加レポート(10%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

口腔保健技工基礎実習で学んだ知識、技術を復習し、臨床実習で活用しましょう。

オフィスアワー

日時:実習終了後15分 場所:附属病院2階専攻科技工室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 5 207	4/5 5 9/13	金 5 金	小泉順一 富田 淳 宇都宮宏充 病院技工室 担当者	ユニット1:有床義歯の製作	1) フレームワークの指示内容の確認を実施する. 2) フレームワークの製作工程を調べる.
				GIO:適正な義歯を製作するために、フレームワークの指示を理解し、症例に適したフレームの構造設計の方法を修得する.	3) 製作手順とセット日の確認作業を実施する. 4) 実習に必要な器材を準備する. 5) サベイングを工夫する.
				ユニット2:就業体験	6) ブロックアウトを工夫する. 7) ビーディングを工夫する.
				GIO:病院内での歯科技工士としての態度を身につけるために、仕事の内容を理解する.	8) ワックスの操作を実施する. 9) 耐火模型の表面処理を実施する. 10) 耐火模型への外形線の印記を実施する.
				ユニット3:企業研修会・学術講演会	11) 埋没・鋳造操作を実施する. 12) 埋没操作を実施する.
				GIO:最新の技術についての知識・技術を修得するために、研修会や講演会への参加を実施する.	13) 鋳造操作を実施する. 14) 研磨工程を工夫する. 15) 適合検査を実施する. 16) 適合状態を調べる. 17) 維持装置の適合確認を実施する. 18) 病院技工室の組織体系について述べる. 19) 最新設備の見学を実施する. 20) 企業研修会へ参加する. 21) 学術講演会に参加する. 22) 学内で行われる勉強会・セミナーに参加する.

本学期的学習目標（GIO）

臨床実習において多種の咬合誘導装置や矯正装置を製作するために、技術と知識を修得する。併せて歯科医師とのコミュニケーション能力を身につけるために、チーム医療における歯科技工士の責任を理解する。学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するために、在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を実施する。また、最新の技術を修得するために、企業研修会や学術講演会に積極的に参加する。口腔内と模型の違いを理解するために、製作物の口腔内への装着見学を実施する。

学習成果

ディプロマポリシーポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- ☐ 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月-金	9:00-14:20	附属病院 2階 専攻科技工室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付プリント		

担当者一覧

小泉順一・宇都宮宏充・病院技工室担当者

成績評価

臨床ケース数(70%)、見学ケース(見学回数・見学評価:20%)、研修会等への参加レポート(10%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

口腔保健技工基礎実習で学んだ知識、技術を復習し、臨床実習で活用しましょう。

オフィスアワー

日時:実習終了後15分 場所:附属病院2階専攻科技工室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 5 207	4/5 5 9/13	金 5 金	小泉順一 宇都宮宏充 病院技工室 担当者	ユニット1:小児・矯正歯科技工実習	1) 小児矯正歯科治療の診療の流れを説明する。 2) 小児矯正歯科の診療見学の意義を理解する。
				GIO:適切な装置を製作するために、小児・矯正歯科の治療に関する技工関連の技術と知識を修得する。	3) 小児矯正技工物の製作手順を実施する。 4) 保険装置製作に必要な器材を準備する。 5) 保険装置の製作を実施する。
				ユニット2:就業体験	6) スペースリグナーに必要な器材を準備する。 7) スペースリグナーの製作を実施する。
				GIO:病院内での歯科技工士としての態度を身につけるために、仕事の内容を理解する。	8) 舌癖、習癖除去装置に必要な器材を準備する。 9) 舌癖、習癖除去装置の製作を実施する。 10) 小児の歯冠修復に必要な器材を準備する。
				ユニット3:企業研修会・学術講演会	11) 小児の歯冠修復物の製作を実施する。 12) 歯列拡大に用いる装置に必要な器材を準備する。
				GIO:最新の技術についての知識・技術を修得するために、研修会や講演会への参加を実施する。	13) 歯列拡大に用いる装置の製作を実施する。 14) 舌側弧線装置に必要な器材を準備する。 15) 舌側弧線装置の製作を実施する。 16) 保定装置に必要な器材を準備する。 17) 保定装置の製作を実施する。 18) 病院技工室の組織体系について述べる。 19) 最新の設備の見学を実施する。 20) 企業研修会に参加する。 21) 学術講演会に参加する。 22) 学内で行われる勉強会やセミナーに参加する。

専攻科特別研究応用

月曜日～ 13:00～14:20
金曜日 9:00～14:20

本学期的学習目標（GIO）

選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究結果をまとめるために、レポートの作成知識と技術を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- ☐ 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1.教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2.基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3.専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4.専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5.すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	前	月-金	13:00-14:20	短大 5階 501講堂, 短大 6階 多目的室, パソコンルーム他
9/17～9/20				
2	前	月-金	9:00-14:20	短大 5階 501講堂, 短大 6階 多目的室, パソコンルーム他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付資料		

担当者一覧

大島克郎・雲野泰史・竹井利香

成績評価

成果発表の到達度(50%)・小論文トレーニングの到達度(50%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

特別研究基礎で学んだ研究論文を作成するための基礎知識を整理し、論文執筆の参考にしましょう。

オフィスアワー

日時:講義終了後 場所:短大1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
1 5 7	4/5 5 4/25	金 金 木	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット1-7: 専攻科特別研究 GIO: 歯科技工の研究論文を作成するために、データの収集や分析の方法を修得する。	1) 研究計画の内容を討議する。 2) データ収集の準備を実施する。 3) データの入力を実施する。 4) データの分析を実施する。 5) 分析結果のまとめを実施する。 6) 分析結果について討議する。 7) 発表会の準備を実施する。
8	5/7	火	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット8: 専攻科特別研究・発表会 GIO: 研究の質を向上させるために、進捗状況を報告し、内容を討議する。	1) 研究内容を述べる。 2) 進行状況を述べる。 3) 研究内容を討議する。 (1学年合同)
9 5 30	5/9 5 7/23	木 金 火	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット9-30: 専攻科特別研究 GIO: 歯科技工の研究論文を作成するために、データの収集や分析の方法を修得する。	1) 研究計画の内容を討議する。 2) データ収集の準備を実施する。 3) データの入力を実施する。 4) データの分析を実施する。 5) 分析結果のまとめを実施する。 6) 分析結果について討議する。
31 5 54	8/29 5 9/20	木 金 金	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット31-54: 専攻科特別研究 GIO: 歯科技工研究の成果をまとめるために、論文を執筆する技能を修得する。	1) 論文の執筆を実施する。 2) 論文の内容について討議する。 3) 学修成果の提出を準備する。 4) 論文の投稿準備を実施する。

専攻科歯科技工学専攻 第2学年 後学期授業科目

歯科技工応用実習	20
専攻科特別研究応用	26

令和6年度 専攻科歯科技工学専攻 2学年 後学期授業時間表(1)

時 限	1	2	3	4
	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	
火	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
水	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	
木	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井) 専攻科特別研究応用 (竹 井)	
金	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	歯科技工応用実習 (竹 井)	

- 1) 授業期間:10月 1日(火)～1月31日(金)
2) 冬期休暇:12月23日(月)～1月 7日(火)
3) 10月 1日(火)は、オリエンテーションを行う。

令和6年度 専攻科歯科技工学専攻 2学年 後学期授業時間表(2)

時 限	1	2	3	4
	9:00-10:20	10:35-11:55	13:00-14:20	14:35-15:55
月	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
火	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
水	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
木	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	
金	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	専攻科特別研究応用 (竹 井)	

1) 授業期間: 2月3日(月)～2月10日(月)

本学期的学習目標（GIO）

臨床実習において咀嚼系の機能回復と審美的変化に対応した陶材焼付け鑄造冠・硬質レジン前装冠やインプラントの工程管理を修得するために、臨床補綴物の製作を実施する。併せて歯科医師とのコミュニケーション能力を身につけるために、チーム医療における歯科技工士の責任を理解する。学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するために、在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を実施し、企業研修会や学術講演会に積極的に参加する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- ☐ 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月-金	9:00-14:20	附属病院 2階 専攻科技工室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付プリント		

担当者一覧

佐藤文裕・雲野泰史・竹井利香・茂原宏美・病院技工室担当者

成績評価

臨床ケース数(70%)、見学ケース(見学回数・見学評価:20%)、研修会等への参加レポート(10%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

口腔保健技工基礎実習で学んだ知識、技術を復習し、臨床実習で活用しましょう。

オフィスアワー

日時:実習終了後15分 場所:附属病院2階専攻科技工室・附属病院技工室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
208 S 410	10/1 S 1/31	火 S 金	佐藤文裕 雲野泰史 竹井利香 茂原宏美 病院技工室 担当者	ユニット1: 歯冠修復物の製作	1) 実習に必要な器材を準備する. 2) 歯型可撤式模型の製作を実施する.
				GIO: 適切な歯冠修復補綴物を製作するために, メタルボンドにおける指示内容を理解し, 製作手順を修得する.	3) 作業模型の咬合器装着を工夫する. 4) マイクロスコープでマージンのトリミングを実施する. 5) ワックスアップを実施する.
				ユニット2: 就業体験	6) フレームのカットバックを工夫する. 7) 適正な埋没を実施する.
				GIO: 病院内での歯科技工士としての態度を身につけるために, 仕事の内容を理解する.	8) 鋳造操作を実施する. 9) 内面の調整を実施する. 10) 築盛面の調整・処理を実施する.
				ユニット3: 企業研修会・学術講演会	11) 陶材の築盛を実施する. 12) 隣接面接触点の調整を実施する.
				GIO: 最新の技術についての知識・技術を修得するために, 研修会や講演会への参加を実施する.	13) 正確な外形の切削を実施する. 14) 表面形状付与を工夫する. 15) 陶材研磨を実施する. 16) メタル研磨を実施する. 17) 病院技工室の組織体系について述べる. 18) 最新の設備の見学を実施する. 19) 企業研修会と学術講演会に参加する. 20) 学内で行われる勉強会やセミナーに参加する.

本学期的学習目標（GIO）

様々な症例に対応できるようにするために、特殊な義歯・装置の意義と目的を理解する。特殊な義歯として、オーバードンチャー、アタッチメント義歯などがある。これらは、その臨床実習を通して製法、形態および材料、あるいは支持や維持の方法に特殊な技法や手法を身につける。また、歯科医師とのコミュニケーション能力を身につけるために、チーム医療における歯科技工士の責任を理解する。学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するために、在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うことで、資質を高める。また、企業研修会や学術講演会に積極的に参加する。自らの製作物を見ることによって、模型との違いを理解する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- ☐ 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月-金	9:00-14:20	附属病院 2階 専攻科技工室 他

教科書・参考書

著者・编者	書 名	版	出版社
	配付プリント		

担当者一覧

小泉順一・富田 淳・宇都宮宏充・病院技工室担当者

成績評価

臨床ケース数(70%)、見学ケース(見学回数・見学評価:20%)、研修会等への参加レポート(10%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

口腔保健技工基礎実習で学んだ知識、技術を復習し、臨床実習で活用しましょう。

オフィスアワー

日時:実習終了後15分 場所:附属病院2階専攻科技工室・附属病院技工室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
208	10/1	火	小泉順一 富田 淳 宇都宮宏充 病院技工室 担当者	ユニット4:有床義歯の製作	1) フレームワークの指示内容の確認を実施する。 2) フレームワークの製作工程を調べる。
				GIO:適正な義歯を製作するために、フレームワークの指示を理解し、症例に適したフレームの構造設計の方法を修得する。	3) 製作手順とセット日の確認作業を実施する。 4) 実習に必要な器材を準備する。 5) サベイングを工夫する。
				ユニット5:就業体験	6) ブロックアウトを工夫する。 7) ビーディングを工夫する。
410	1/31	金		GIO:病院内での歯科技工士としての態度を身につけるために、仕事の内容を理解する。	8) ワックスの操作を実施する。 9) 耐火模型の表面処理を実施する。 10) 耐火模型への外形線の印記を実施する。
				ユニット6:企業研修会・学術講演会	11) 埋没・鋳造操作を実施する。 12) 埋没操作を実施する。
				GIO:最新の技術についての知識・技術を修得するために、研修会や講演会への参加を実施する。	13) 鋳造操作を実施する。 14) 研磨工程を工夫する。 15) 適合検査を実施する。 16) 適合状態を調べる。 17) 維持装置の適合確認を実施する。 18) 病院技工室の組織体系について述べる。 19) 最新設備の見学を実施する。 20) 企業研修会へ参加する。 21) 学術講演会に参加する。 22) 学内で行われる勉強会・セミナーに参加する。

本学期的学習目標（GIO）

特殊な装置の製法、形態および材料、あるいは特殊技法手法を身につけるために、臨床補綴物の製作を実施する。歯科医師とのコミュニケーション能力を身につけるために、チーム医療における歯科技工士の責任を理解する。学生の学習意欲を喚起し、高い職業意識を育成するために、在学中に将来のキャリアに関連した就業体験を行うことで、資質を高め、企業研修会や学術講演会に積極的に参加する。また、口腔内と模型の違いを理解するために、製作物の口腔内装着状況の見学を実施する。

学習成果

ディプロマポリシーポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- | | |
|---|---|
| ○ | 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。 |
| ○ | 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。 |

カリキュラムポリシー

- | | |
|---|--|
| ○ | 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。 |
| | 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。 |
| | 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。 |
| ○ | 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。 |

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月-金	9:00-14:20	附属病院 2階 専攻科技工室 他

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付プリント		

担当者一覧

小泉順一・宇都宮宏充・病院技工室担当者

成績評価

臨床ケース数(70%)、見学ケース(見学回数・見学評価:20%)、研修会等への参加レポート(10%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

口腔保健技工基礎実習で学んだ知識、技術を復習し、臨床実習で活用しましょう。

オフィスアワー

日時:実習終了後15分 場所:附属病院2階専攻科技工室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
208 〃 410	10/1 〃 1/31	火 〃 金	小泉順一 宇都宮宏充 病院技工室 担当者	ユニット4:小児・矯正歯科技工実習	1)小児矯正歯科治療の診療の流れを説明する. 2)小児矯正歯科の診療見学の意義を理解する.
				GIO:適切な装置を製作するために,小児・矯正歯科の治療に関する技工関連の技術と知識を修得する.	3)小児矯正技工物の製作手順を実施する. 4)保隙装置製作に必要な器材を準備する. 5)保隙装置の製作を実施する.
				ユニット5:就業体験	6)スペースリグナーに必要な器材を準備する. 7)スペースリグナーの製作を実施する.
				GIO:病院内での歯科技工士としての態度を身につけるために,仕事の内容を理解する.	8)舌癖,習癖除去装置に必要な器材を準備する. 9)舌癖,習癖除去装置の製作を実施する. 10)小児の歯冠修復に必要な器材を準備する.
				ユニット6:企業研修会・学術講演会	11)小児の歯冠修復物の製作を実施する. 12)歯列拡大に用いる装置に必要な器材を準備する.
				GIO:最新の技術についての知識・技術を修得するために,研修会や講演会への参加を実施する.	13)歯列拡大に用いる装置の製作を実施する. 14)舌側弧線装置に必要な器材を準備する. 15)舌側弧線装置の製作を実施する. 16)保定装置に必要な器材を準備する. 17)保定装置の製作を実施する. 18)病院技工室の組織体系について述べる. 19)最新の設備の見学を実施する. 20)企業研修会に参加する. 21)学術講演会に参加する. 22)学内で行われる勉強会やセミナーに参加する.

本学期的学習目標（GIO）

選択したテーマについて、教員の指導のもとに研究結果をまとめるために、レポートの作成知識と技術を修得する。

学習成果

ディプロマポリシー

本学では、以下のような能力を身に付け、且つ、所定の単位を修得することにより、修了証が授与されます。さらに、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の規定に準じた審査に合格したものは、口腔保健学士の学位が授与されます。

- ☐ 1. 歯科技工士としての基礎的な知識・技術に基づき、最新の専門的知識と高度な技術を有し、もって、国民の口腔健康管理に寄与できる能力を持つ。
- ☐ 2. これからの社会環境に対応しうる応用能力を有する。

カリキュラムポリシー

- ☐ 1. 教育の理念に基づき、教育課程を、基礎分野、専門基礎分野、専門分野の3分野に大別し、学年の進行とともに系統的・段階的かつ自主的に学習できるように編成をしています。
- ☐ 2. 基礎分野の科目は、歯科技工士として幅広い視野と豊かな人間性を涵養し、歯科医療スペシャリストとして必要な思考力と感性を備えることができる授業科目です。
- ☐ 3. 専門基礎分野の科目は、歯科医療スペシャリストとして必要な基礎的知識・技術を修得できる授業科目です。
- ☐ 4. 専門分野の科目は、それぞれのコースの歯科医療スペシャリストとして必要な専門的知識・技術を修得するとともに、基礎分野・専門基礎分野で得たことを踏まえて、総合的な判断力や自ら研究することのできる基本的能力を修得できる授業科目です。
- ☐ 5. すべての教育課程において、日本歯科大学生命歯学部と附属病院の協力を得て、教育内容の充実を図ります。

学年	学期	曜日	時間	講 堂
2	後	月-金	13:00-14:20	短大 5F 502講堂, 短大 6F 多目的室, パソコンルーム他

2/3～2/7

2	後	月-木	9:00-14:20	短大 5F 502講堂, 短大 6F 多目的室, パソコンルーム他
---	---	-----	------------	-----------------------------------

2/10

2	後	金	9:00-11:55	短大 5F 502講堂, 短大 6F 多目的室, パソコンルーム他
---	---	---	------------	-----------------------------------

教科書・参考書

著者・編者	書 名	版	出版社
	配付資料		

担当者一覧

大島克郎・雲野泰史・竹井利香

成績評価

成果発表の到達度(50%)・小論文トレーニングの到達度(50%)を成績の評価対象とする。

準備学習（予習・復習）

特別研究基礎で学んだ研究論文を作成するための基礎知識を整理し、論文執筆の参考にしましょう。

オフィスアワー

日時: 講義終了後 場所: 短大 1階教員室

回数	日付	曜日	担当者	ユニット番号：名 / 学習目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)
55	10/1	火	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット55:専攻科特別研究 GIO:学修成果を提出するために、一連の手続きを理解する。	1)学修成果の提出を実施する。
56	10/3	木	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット56:専攻科特別研究 GIO:小論文作成の技能を修得するために、論文の構成方法を理解する。	1)小論文作成の方法を説明する。 2)論文と小論文の違いについて比較する。 3)小論文の構成について述べる。
57 58 67	10/8 12/12	火 木	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット57-67:専攻科特別研究 GIO:小論文作成の技能を修得するために、論文の構成方法を理解する。	1)小論文作成のトレーニングを実施する。 2)小論文の内容について討議する。
68 88	12/16 2/7	月 金	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット68-88:専攻科特別研究 GIO:小論文作成の技能を修得するために、論文の構成方法を理解する。	1)研究発表会の準備を実施する。 2)論文の投稿準備を実施する。 3)論文の投稿を実施する。
89 90	2/10	月	大島克郎 雲野泰史 竹井利香	ユニット89-90:専攻科特別研究 GIO:小論文作成の技能を修得するために、論文の構成方法を理解する。	1)研究成果の発表を実施する。 2)研究成果を討議する。

